

群馬県歯科医師会

「糖尿病に関する研修会（令和7年度8020県民運動推進特別事業）」

■日 時 令和8年2月7日（土）午後7時～9時

■会 場 群馬県歯科医師会館 5階ホール

■開催形式 集合研修（会場のみ）

■演 題 糖尿病治療の最前線から

～高齢化とフレイル対策、そして医科歯科連携

■対 象 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士及び多職種関係者等

■講 師 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座

内分泌代謝内科学分野 教授 山田英二郎 先生

■申込方法 下記のURLまたはQRコードにてお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/zvYmr8Nm6wDVbUFk7>

■申込み〆切 令和8年2月4日（水）

※ URLおよびQRコードでのお申し込みができない場合には、県歯事務局までご連絡ください。

(TEL 027-252-0391)

■抄 錄

糖尿病治療の目的は、血糖管理にとどまらず、合併症や関連疾患の発症・進展を防ぎ、糖尿病のない人と同等の寿命と生活の質（QOL）を実現することである。近年、SGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬、加えてGIP/GLP-1作動薬（チルゼパチド）の登場により、血糖を正常化に近づける治療が可能となってきた。これらの薬剤は肥満症にも有効であり、糖尿病と肥満がしばしば重なり合う病態に対して新たな治療選択肢を提供している。その一方で、本来の適応を超えて美容目的での使用が社会問題化しており、適正使用をいかに確保するかが新たな課題となっている。

これに加えて、糖尿病診療の現場では高齢化に伴うフレイルやサルコペニアの増加が大きな問題となっている。低栄養や身体機能の低下、さらに歯周病や口腔機能の低下は、糖尿病の重症化やフレイル進展と密接に関連する。国の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」や生活習慣病管理料の改定においても、生活習慣病管理と重症化予防、フレイル対策を一体的に進めることができることが求められており、そのなかで歯科との連携を含む多職種協働の意義が改めて注目されつつある。

本講演では、糖尿病と肥満症の最新治療の進歩と課題を概説するとともに、高齢化社会におけるフレイル対策や重症化予防を一体的に進めるうえで、歯科との協働が果たす意義を考察する。地域医療の現場で医科と歯科が連携し、多職種で包括的に取り組むことの実際と今後の展望について、皆さんと共有したい。

■経歴

平成11年3月 群馬大学医学部卒業

平成11年6月 群馬大学医学部附属病院第一内科研修医

平成12年6月 伊勢崎市民病院 研修医

平成16年4月 群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学 リサーチアシスタント

平成18年4月 ニューヨーク州立大学ストーンブルク校 ポストドクトラルフェロー

平成20年2月より アルバートAINシュタイン医科大学医学部にて研究

平成24年4月 群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科 医員

平成26年4月 群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科 助教

平成30年4月 群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科 病院講師

平成30年10月 群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科 講師

令和5年4月 群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科 診療科長 診療教授

令和6年12月 群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 内分泌代謝内科学分野 教授